



『まさとさん』2009年
陶土
335×244×215mm



『まさとさん』2011年
陶土
200×550×240mm

鎌江 一美



鎌江 一美 Kazumi Kamae

1966年～ / 滋賀県在住

鎌江さんが作る不思議な形の陶芸作品は、まるで全体が米粒のような小さなツブツブでびっしりと埋めつくされた、驚きのカタチをしています。以前は、別の方法で粘土造形をしていたのですが、ある時から、指先で小さく丸めた粘土をくっつけてゆくことがおもしろくなったようです。そして、この方法がすっかり気に入ったのか、その小さな粒はどんどん小さくなってゆき、ほとんど米粒くらいになっていったのです。

こうして作り続けている内に、彼女はどんどん無心になってゆき、今までにないほど集中していくようになったようです。他のことを何も考えないで没頭していくことは、私たちも実際やってみると本当に気持ちが良いものです。指先の感覚の心地良さと、次々と埋め尽くしていく達成感が、彼女の気持ちの後押しをしていったのでしょう。こうしてこの不思議な作り方は、今や

すっかり彼女自身のユニークな方法となっています。

また、もうひとつ驚いてしまうことに、これは彼女が大好きな一人の男の人を作っていることが多いのだそうです。それが誰かは内緒ですが、でも、こんなに熱意のこもった思いを寄せられる男性は、幸せですね。



『まさとさん』2011年
陶土
470×300×180mm